



## 2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年8月4日

上場会社名 ユニフォームネクスト株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3566 URL <https://uniformnext.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横井 康孝  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 吉川 貴之 TEL 0776 (43) 1034  
 四半期報告書提出予定日 2021年8月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2021年12月期第2四半期の業績（2021年1月1日～2021年6月30日）

#### （1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	2,594	6.9	208	95.8	209	77.9	135	71.2
2020年12月期第2四半期	2,427	0.5	106	△42.0	117	△36.8	79	△34.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	54.64	54.21
2020年12月期第2四半期	31.98	31.76

#### （2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第2四半期	3,525	2,368	67.2
2020年12月期	3,221	2,244	69.7

（参考）自己資本 2021年12月期第2四半期 2,368百万円 2020年12月期 2,244百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2021年12月期	—	0.00	—	—	—
2021年12月期（予想）	—	—	—	10.00	10.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年12月期の業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,076	22.3	424	31.7	424	25.1	279	24.6	112.18

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期2Q	2,493,662株	2020年12月期	2,487,162株
② 期末自己株式数	2021年12月期2Q	112株	2020年12月期	112株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期2Q	2,448,810株	2020年12月期2Q	2,483,514株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算説明会内容の入手方法）

当社は、2021年8月4日（水）にアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) キャッシュ・フローの状況 .....	3
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第2四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、3回目の緊急事態宣言が発令・延長された結果、経済活動は大きな制約を受け、依然として厳しい状況で推移いたしました。ワクチン接種が進むことで一部経済活動の回復の兆しが見られるものの、再び感染拡大が懸念される等、収束の見通しは立っておらず、先行き不透明な状態が続いております。

かかる状況の下、当社は、空調服等の売れ筋商品を中心とした在庫拡充を積極的に行い、気温上昇に伴う季節性商品の需要増加に備えました。また、新型コロナウイルス感染症の拡大に応じカタログDMの発行部数を調整、WEB広告のAI運用など効率的な集客に努めました。訪問販売においては、引き続きユニフォームを通じた顧客企業業績の改善をテーマとし、初回アプローチ時の業務フロー改善を通じ、案件数の増加に重点を置き取り組んでまいりました。

販売状況に関して、サービス部門においては、新型コロナウイルス感染症の拡大、緊急事態宣言の発令や延期による、飲食店の営業時短や自粛、イベントの縮小・中止などの影響を受け売上が伸び悩みました。また、医療制服においては、3月末までの感染症感染拡大防止・医療提供体制確保支援補助金の反動で4月以降の売上の伸びが鈍化しました。これらの結果、同部門の売上高は1,102,802千円(前年同四半期比4.3%増)となりました。

オフィスワーク部門においては、5月の梅雨入りの前倒しにより全国的に日照時間が平年より減った結果、夏物商材の販売が伸び悩んだものの、その後の気温の上昇に伴い販売を順調に伸ばしました。これらの結果、同部門の売上高は1,312,091千円(同6.5%増)となりました。

販管費に関して、WEB広告費のAI運用により、費用対効果のある広告中心の運用に切り替えを行った結果、運用効率化が図られ広告費が抑制されました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の経営成績は、売上高2,594,588千円(前年同四半期比6.9%増)、営業利益208,640千円(同95.8%増)、経常利益209,180千円(同77.9%増)、四半期純利益135,994千円(同71.2%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第2四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べ303,994千円増加し、3,525,619千円となりました。流動資産は、前事業年度末に比べ311,972千円増加いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金が131,510千円、商品が71,567千円増加したことによるものであります。固定資産は、前事業年度末に比べ7,977千円減少いたしました。これは主に、有形固定資産・無形固定資産の取得15,451千円と減価償却33,769千円、投資その他の資産が10,339千円増加したことによるものであります。

#### (負債)

当第2四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ180,266千円増加し、1,157,192千円となりました。流動負債は、前事業年度末に比べ231,007千円増加いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が136,171千円、電子記録債務が29,077千円、未払法人税等が17,181千円増加したことによるものであります。固定負債は、前事業年度末に比べ50,741千円減少いたしました。これは主に、長期借入金が52,476千円減少したことによるものであります。

#### (純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ123,727千円増加し、2,368,427千円となりました。これは主に、譲渡制限付株式報酬としての新株式の発行による資本金の増加6,301千円、資本剰余金の増加6,301千円、四半期純利益135,994千円及び剰余金の配当24,870千円によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、1,688,693千円となり、前事業年度末に比べ、98,101千円増加いたしました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は、183,726千円となりました。これは主に、税引前四半期純利益209,207千円、減価償却費33,769千円と売上債権の増加131,510千円、たな卸資産の増加71,018千円、仕入債務の増加165,248千円、法人税等の支払額60,473千円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、8,279千円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1,426千円、無形固定資産の取得による支出6,597千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、77,346千円となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出52,476千円、配当金の支払額24,870千円によるものであります。

(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2021年2月5日の「2020年12月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年12月31日)	当第2四半期会計期間 (2021年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,590,592	1,688,693
受取手形及び売掛金	169,058	300,568
商品	306,367	377,934
貯蔵品	1,527	978
その他	5,418	16,901
貸倒引当金	△6	△146
流動資産合計	2,072,956	2,384,928
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	718,644	704,706
構築物(純額)	39,495	37,405
機械及び装置(純額)	16,896	14,860
車両運搬具(純額)	1,458	6,596
工具、器具及び備品(純額)	8,049	8,982
土地	216,779	216,779
有形固定資産合計	1,001,323	989,330
無形固定資産		
ソフトウェア	104,366	91,470
その他	1,118	7,689
無形固定資産合計	105,485	99,160
投資その他の資産	41,859	52,199
固定資産合計	1,148,667	1,140,690
資産合計	3,221,624	3,525,619
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	178,116	314,288
電子記録債務	255,436	284,513
1年内返済予定の長期借入金	104,952	104,952
未払法人税等	66,262	83,443
賞与引当金	37,000	43,087
その他	198,249	240,740
流動負債合計	840,016	1,071,024
固定負債		
長期借入金	123,496	71,020
ポイント引当金	13,413	15,148
固定負債合計	136,909	86,168
負債合計	976,925	1,157,192
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	348,899	355,201
資本剰余金	353,168	359,470
利益剰余金	1,542,840	1,653,965
自己株式	△210	△210
株主資本合計	2,244,699	2,368,427
純資産合計	2,244,699	2,368,427
負債純資産合計	3,221,624	3,525,619

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
売上高	2,427,050	2,594,588
売上原価	1,517,641	1,626,309
売上総利益	909,409	968,278
販売費及び一般管理費	802,877	759,637
営業利益	106,532	208,640
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	262	258
受取補償金	8,400	—
受取講演料	287	203
その他	2,635	428
営業外収益合計	11,585	890
営業外費用		
支払利息	535	350
営業外費用合計	535	350
経常利益	117,582	209,180
特別利益		
補助金収入	70,700	—
固定資産売却益	—	27
特別利益合計	70,700	27
特別損失		
固定資産圧縮損	68,632	—
固定資産除却損	—	0
特別損失合計	68,632	0
税引前四半期純利益	119,650	209,207
法人税、住民税及び事業税	36,175	76,862
法人税等調整額	4,054	△3,649
法人税等合計	40,229	73,213
四半期純利益	79,421	135,994

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	119,650	209,207
減価償却費	37,860	33,769
固定資産売却益	—	△27
固定資産除却損	—	0
固定資産圧縮損	68,632	—
補助金収入	△70,700	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	74	140
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△6,500	6,087
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△1,373	1,735
受取利息及び受取配当金	△1	△1
支払利息	535	350
売上債権の増減額 (△は増加)	△184,568	△131,510
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△78,645	△71,018
仕入債務の増減額 (△は減少)	230,349	165,248
その他	14,937	30,567
小計	130,250	244,549
利息及び配当金の受取額	1	1
利息の支払額	△535	△350
法人税等の支払額	△68,820	△60,473
営業活動によるキャッシュ・フロー	60,896	183,726
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,353	△1,426
固定資産の売却による収入	—	27
無形固定資産の取得による支出	△35,312	△6,597
その他	5,032	△282
投資活動によるキャッシュ・フロー	△31,633	△8,279
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△52,476	△52,476
配当金の支払額	△24,830	△24,870
財務活動によるキャッシュ・フロー	△77,306	△77,346
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△48,043	98,101
現金及び現金同等物の期首残高	1,411,166	1,590,592
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,363,123	1,688,693



（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

当社は、ユニフォーム販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。